

高知県版 J-クレジット制度 プロジェクト計画書 （排出削減プロジェクト用）

プロジェクトの名称：

プロジェクト 実施者名	印
----------------	---

妥当性確認申請日 年 月 日

プロジェクト登録申請日 年 月 日

1 プロジェクト実施者の情報

1.1 プロジェクト実施者（複数のプロジェクト実施者がいる場合は代表実施者）

実施者名	(フリガナ) _____
住所	_____
代表者氏名	_____
担当者氏名	_____
担当者所属・役職	_____
担当者 E-mail	_____
担当者電話番号	_____
プロジェクト実施者の低炭素社会実行計画への参加の有無	<input type="checkbox"/> 参加している（所属団体名： _____） <input type="checkbox"/> 参加していない
プロジェクト実施者の地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく算定・報告・公表制度における報告の有無	<input type="checkbox"/> 特定排出者である 特定排出者コード： _____ <input type="checkbox"/> 特定排出者でない
プロジェクト実施者のエネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく定期報告の有無	<input type="checkbox"/> 対象である（ <input type="checkbox"/> 一種 <input type="checkbox"/> 二種） 省エネ法特定事業者番号又は特定連鎖化事業者番号： _____ 省エネ法指定工場番号： _____ <input type="checkbox"/> 対象でない

1.2 プロジェクト代表実施者以外のプロジェクト実施者 ※1

実施者名	(フリガナ) _____
住所	_____
代表者氏名	_____
担当者氏名	_____
担当者所属・役職	_____
担当者 E-mail	_____
担当者電話番号	_____
プロジェクト実施者の低炭素社会実行計画への参加の有無	<input type="checkbox"/> 参加している（所属団体名： _____） <input type="checkbox"/> 参加していない
プロジェクト実施者の地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく算定・報告・公表制度における報告の有無	<input type="checkbox"/> 特定排出者である 特定排出者コード： _____ <input type="checkbox"/> 特定排出者でない

プロジェクト実施者のエネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく定期報告の有無	<input type="checkbox"/> 対象である (<input type="checkbox"/> 一種 <input type="checkbox"/> 二種)								
	省エネ法特定事業者番号又は特定連鎖化事業者番号： <table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> </tr> </table>								
	省エネ法指定工場番号： <table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> </tr> </table>								
<input type="checkbox"/> 対象でない									

※1 複数のプロジェクト実施者が参加する場合には、欄をコピーしてそれぞれのプロジェクト実施者の情報を記載すること。

1.3 高知県版 J-クレジット保有者 ※1

保有者名	(フリガナ)
住所	

※1 高知県版 J-クレジット保有者が決まっている場合は記入すること。

※ 以下、複数のプロジェクトをまとめて申請する場合は、2～4の内容を方法論ごと・実施場所ごとに記載すること。

2 プロジェクト概要

2.1 プロジェクトの目的及び概要

プロジェクト名		
目的		
概要（削減方法）		
プロジェクト実施場所	実施事業所名	
	住所	

2.2 プロジェクト実施前後の状況

<p>(プロジェクト実施前の概要図※1)：</p> <p>※1 詳細な設備情報は別紙 (A.1) に記載すること。ただし、設備の種別、台数、燃料、出力等の情報は図中に記載すること（具体的な記載範囲は記載例参照）。また、新設プロジェクト又は国内クレジット制度若しくはオフセット・クレジット (J-VER) 制度から移行したプロジェクトの場合にはベースラインとして設定した標準的な設備の情報を記載すること。</p>
<p>(プロジェクト実施後の概要図 ※2)：</p> <p>※2 詳細な設備情報は別紙 (A.1) に記載すること。ただし、設備の種別、台数、燃料、出力等の情報は図中に記載すること（具体的な記載範囲は記載例参照）。</p>

2.3 プロジェクト要件への適合

プロジェクトの実施日 ※1	<input type="checkbox"/> 2013年4月以降に実施されたプロジェクトである <input type="checkbox"/> 2012年4月～2013年3月に実施されたプロジェクトであり、国内クレジット制度における事業承認及びオフセット・クレジット (J-VER) 制度におけるプロジェクト登録のいずれも受けていない ※2
------------------	---

	<input type="checkbox"/> 2008年4月～2013年3月に実施されたプロジェクトであり、国内クレジット制度における事業承認又はオフセット・クレジット(J-VER)制度におけるプロジェクト登録を受けている ※3
追加性	<input type="checkbox"/> 追加性を有している ※4

※1 「プロジェクトの実施日」とは、設備の稼働日や燃料の切替えを行った日を指す。

※2 2013年度中に限り高知県版 J-クレジット制度のプロジェクトとして登録申請を行うことができる。

※3 国内クレジット制度又はオフセット・クレジット(J-VER)制度から移行したプロジェクトについては、「2013年4月以降に実施されたもの」という要件を満たしている必要はない。ただし、標準的な設備をベースラインとして設定する必要がある。

※4 追加性評価に関する詳細情報は別紙(A.2)に示すこと。方法論の7. 付記において、追加性の評価が不要とされているもの(ポジティブリスト)については、別紙(A.2)の記入は不要。

3 方法論

3.1 適用方法論

適用する方法論	方法論番号	_____ ver. _____
	方法論名称	
更新／新設 ※1	<input type="checkbox"/> 更新プロジェクト <input type="checkbox"/> 新設プロジェクト	

※1 ベースラインとして標準的な設備を設定する場合、「新設プロジェクト」となる。

3.2 方法論の適用条件への適合 ※1

条件1	<input type="checkbox"/> 適合している	説明
条件2	<input type="checkbox"/> 適合している	説明
条件3	<input type="checkbox"/> 適合している	説明
条件4	<input type="checkbox"/> 適合している	説明

※1 記載内容に関する根拠資料や関連情報等について、妥当性確認機関からの要求に応じて情報提供を行うこと。

3.3 モニタリング・算定方法

ベースライン排出量 ※1				
主要／付随的	排出活動	温室効果ガスの種類	影響度 ※1	モニタリング・算定の実施 ※2
主要			—	<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う
主要			—	<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う
付随的				<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う <input type="checkbox"/> 排出量の算定を省略する
付随的				<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う <input type="checkbox"/> 排出量の算定を省略する

プロジェクト実施後排出量 ※1				
主要／付随的	排出活動	温室効果ガスの種類	影響度 ※1	モニタリング・算定の実施 ※2
主要			—	<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う
主要			—	<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う
付随的				<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う <input type="checkbox"/> 影響度により排出量を評価する
付随的				<input type="checkbox"/> 排出量の算定を行う <input type="checkbox"/> 影響度により排出量を評価する

※1 各排出活動の排出量算定方法及び影響度の算定方法については別紙（A.3）に記載すること。

※2 モニタリング方法については別紙（A.4）に記載すること。

4 排出削減計画

認証予定期間 ※1	年 月 日 ~ 年 月 日 (年 ヶ月)			
排出削減計画 ※2	年度	ベースライン排出量	プロジェクト実施後 排出量	排出削減量
	2013 年度	t-CO2	t-CO2	t-CO2
	2014 年度	t-CO2	t-CO2	t-CO2
	2015 年度	t-CO2	t-CO2	t-CO2
	2016 年度	t-CO2	t-CO2	t-CO2
	2017 年度	t-CO2	t-CO2	t-CO2
	2018 年度	t-CO2	t-CO2	t-CO2
	2019 年度	t-CO2	t-CO2	t-CO2
	2020 年度	t-CO2	t-CO2	t-CO2
	合計	t-CO2	t-CO2	t-CO2
年度ごとに排出削減量が異なる場合の理由	<input type="checkbox"/> 電力の CO2 排出係数の影響による <input type="checkbox"/> その他の理由 (以下に記載すること)			

※1 認証予定期間は、プロジェクト登録の申請予定日若しくはモニタリングが可能となる予定日のいずれか遅い日から 2021 年 3 月 31 日までの間で設定すること。

※2 排出削減量の算定方法については、別紙 A.3 に記載すること。

5 データ管理

データの品質を確保するための仕組みとして、データ収集・集計等体制の整備と個別データの信頼性の向上について以下に記載する。詳細については、高知県版J-クレジット制度実施規程（プロジェクト実施者向け）「2.4」を参照のこと。

5.1 モニタリング体制

データ管理責任者 ※1	
モニタリング担当者 ※1	

※1 担当者の組織、役職名を記載すること（個人名は不要）。原則として、それぞれ別の担当者をおくこと。

5.2 モニタリングデータの収集・記録・保管

モニタリングデータの収集・記録・保管の手続 ※1	
データ保存期間 ※2	認証対象期間終了後____年間

※1 認証対象期間において複数の担当者がモニタリングを行う場合には、全ての担当者が適切にモニタリングデータの収集・記録・管理を行うための仕組みも併せて記載すること。

※2 原則認証対象期間終了後2年間とする。

6 特記事項

6.1 排出量の削減に影響を与える可能性のあるリスクの特定について ※1

排出量の削減に影響を与える可能性のあるリスクがあるか <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

※1 プロジェクト排出量が増加し、ベースライン排出量を上回る可能性のあるリスクも含む。リスクの例は、記載例を参照

(「有」にチェックした場合に記入)

項目	概要
リスク要因	

6.2 ダブルカウントの防止措置について

類似制度へプロジェクトを登録しているか。 <input type="checkbox"/> 登録している (類似制度名 : _____ 類似制度での認証予定期間 : _____) <input type="checkbox"/> 登録していない

6.3 法令等の義務の有無について

プロジェクトの実施は、法令等の義務履行によるものではないか。 <input type="checkbox"/> 法令等の義務履行によるものではない。 <input type="checkbox"/> 法令等の義務履行によるものである。
